

# プールの使い方の工夫 ～「流れるプール」で泳力も意欲も向上～

日田市立高瀬小学校 岩崎 敬

コロナ禍による水泳の中断から、授業が再開して3年目。子どもたちは、とっても水泳が上手になってきました。それでも水泳の授業では、技能差が大きく、水に対する恐怖心も個人差があるため、高学年でも、浅いプールの使用を認めながら授業を行いました。

今回は、プールの使い方について、工夫したことを紹介します。

## <本校のプールの構造>

深いプール（25m×6コース）と、フェンスで仕切った浅いプール



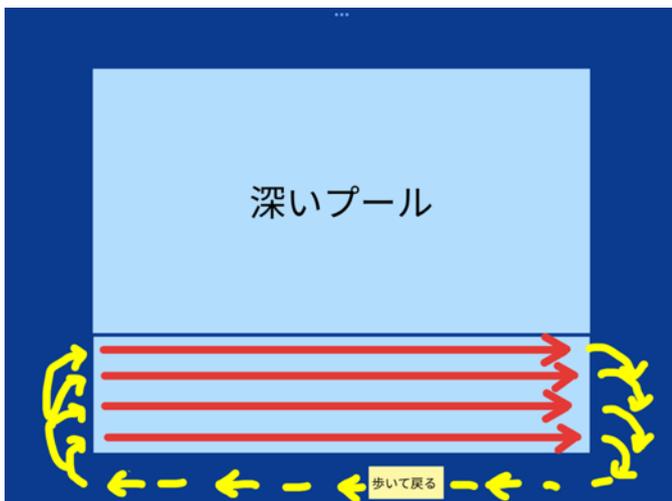
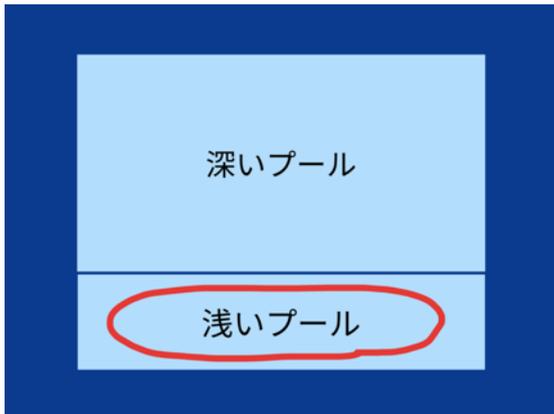
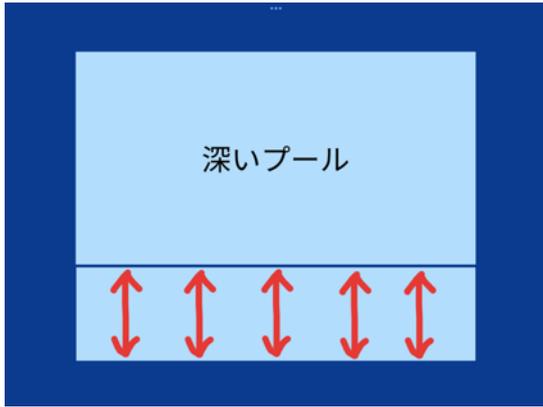
ここに排水溝あり  
水深1.1m



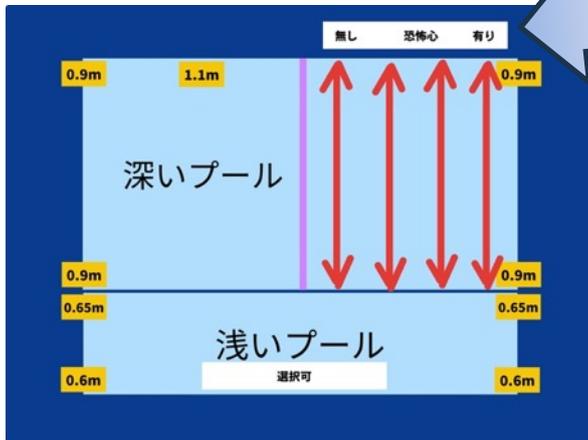
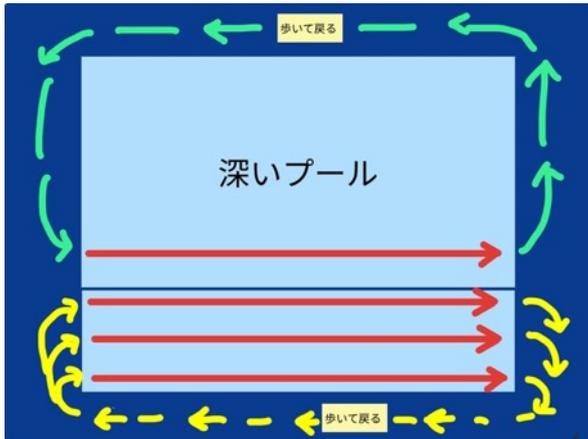
浮くイメージづくりの  
ための、いつものスイカ



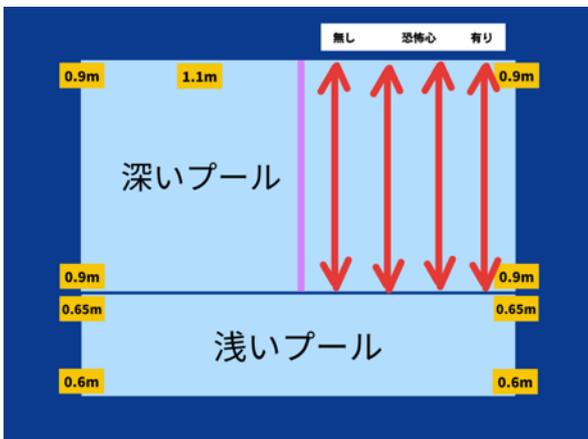
# <低学年>



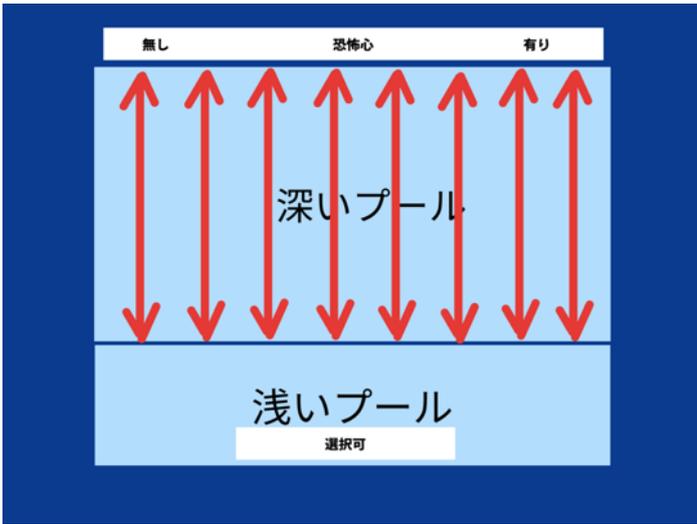
# <3年生>



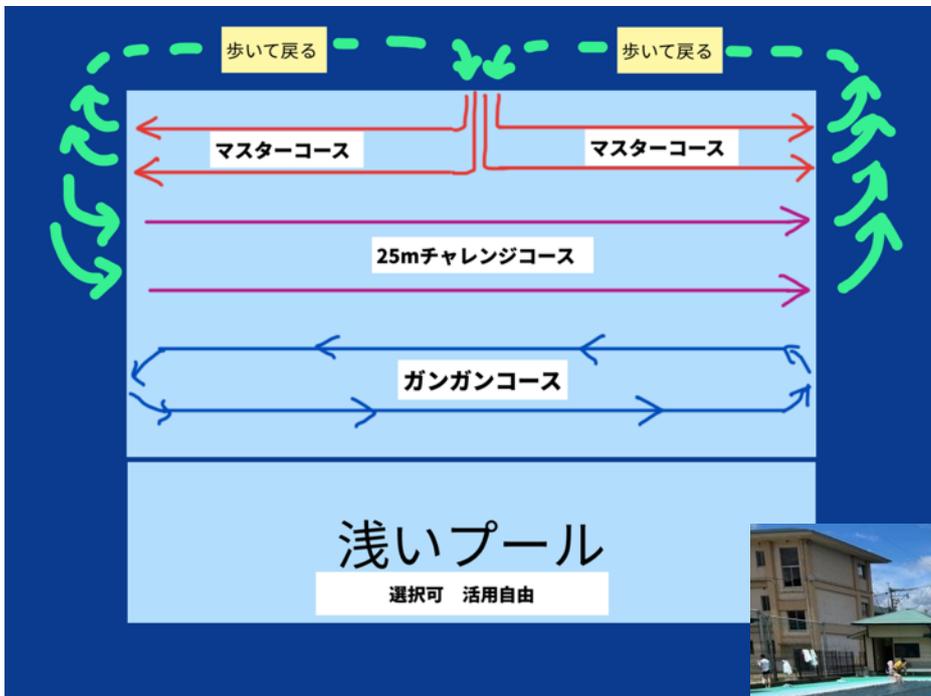
3年生全員が深いプールへ。ただし、水深などで恐怖心のある子は、より浅い奥のところから慣れて行きました。



# <4~6年生>



授業の入水は、基本的に横から。  
一斉のウォーミングアップ。



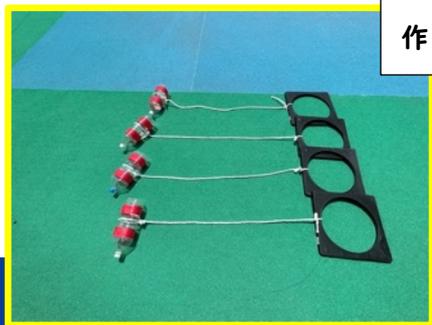
休憩なしで泳ぎ続ける子



自己の課題に応じて、自己決定しながらコースを  
選び、どんどん上手になっていきました。



子どもたちの泳ぎが、どんどん上手になるのは嬉しいことです。  
ただし、上手になったからこそ、川をあまく見ないでほしい、水の怖さも知ってほしいとの思いから、夏休み前に「流れるプール」を経験してもらいました。  
すると…



ペットボトルとコーンウエイトで作った簡易ブイ

ここの直線がいい感じの流れになってよく進みます。



一周50m

浅いプール

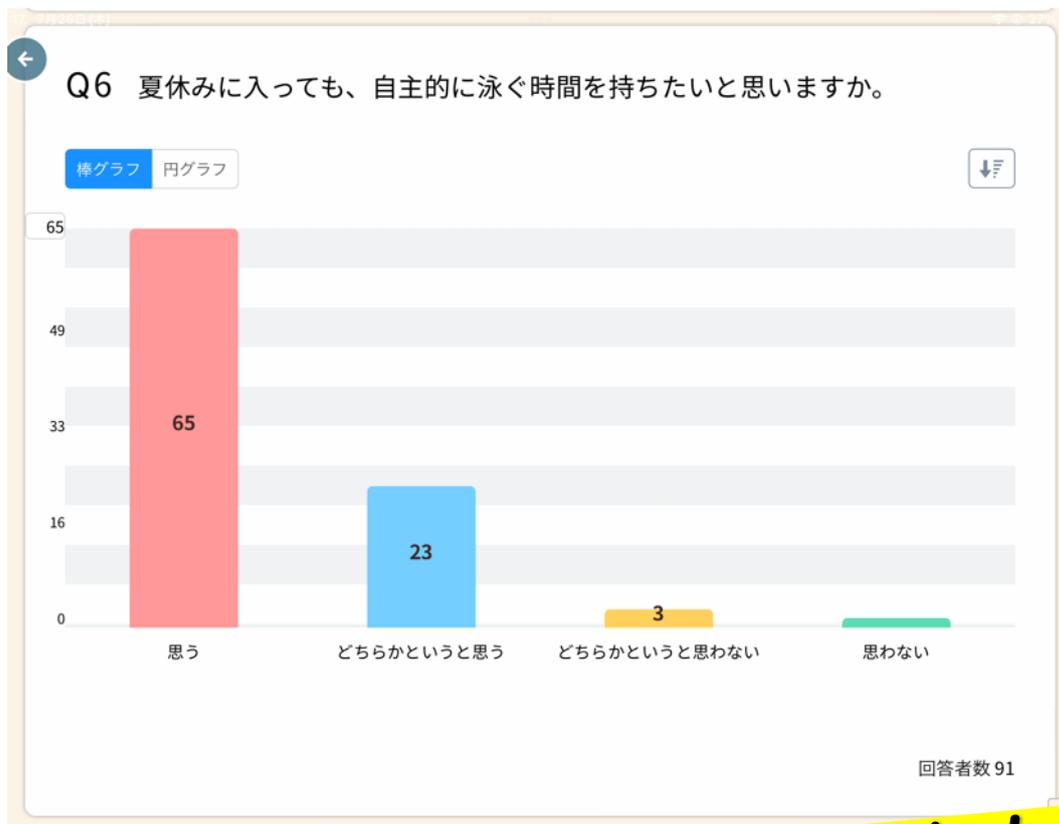
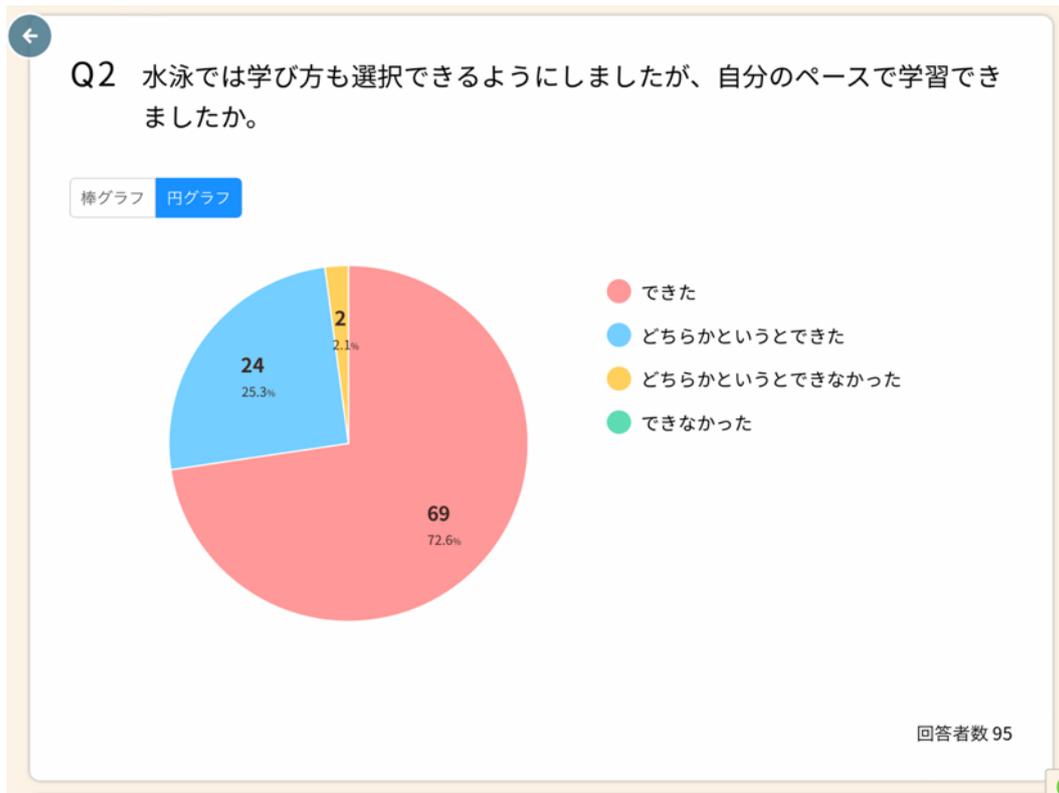


泳げた距離のところに  
ネームプレートを上げる子どもたち。



水流があり、伏し浮きだけで、自然に前に進みます。おかげで、どの子もどんどん上達していきました。(おすすめです)

最後に、4年生以上にアンケートを取ってみました。



多くの子が水泳の楽しさを感じてくれたようです。とっても嬉しいです。